

高校生の皆さんと中学生の皆さん、中高生一同がこの場に集まっているということに本校が中高一貫教育校であることをあらためて認識し、身が引き締まるとともに皆さんが目指す「夢の実現」に向けて学校としての責任を感じています。

それでは、令和7年度が始まるに当たり、皆さんへエールを送る意味を込めて話をしたいと思います。

高志高校のスクールミッション【学校としての使命】の1つは、「創造的な思考、知的好奇心や主体性を伸ばし、将来の夢に向けて挑戦する生徒の育成です。中学校にはスクールミッションの策定は課されていませんが、中高一貫教育校なので、目指す方向は高校と同じです。

その使命を果たすために、高志の学びは、「答えのない問いに対して、考え、調査し、さらに問いかけ、さらにじっくり考える」取り組みをしています。当然、スンナリ上手くいく筈もなく、取り組む過程の中で、様々な壁が立ちはだかると思います。高校生の皆さんはもうすでに体験していると思いますが、それも一度や二度ではなく、何度も訪れます。

悩んだり、困った時には、次の言葉を思い起こしてください。

「私は失敗したことがない、ただ、一万通りの、うまく行かない方法を見つただけだ」という言葉です。

この言葉は有名なエジソンの言葉ですが、エジソンに限らず、同じような意味合いの言葉や考え方を、多くの起業家、経営者、脳科学者、心理学者の方々も言っています。そして、皆さんの中にも既にそう考えている人もいます。

ならば、あとは、実行あるのみです。

決して諦めず試行錯誤を重ねることで「努力すること」の大切さを知り、人間として成長する機会にもなります。また、仲間とともに乗り越えることで、一個人だけでなく、学校や組織、ひいては社会全体の進化にも結びつくはずです。

このように、うまくいかないことを将来や近未来の社会改善へとつなげる点を科学的に論証したのが、経営学の大家である野中郁次郎（のなか いくじろう）さんです。

ベストセラー『失敗の本質』では、人間をこう定義しています「人間は、未来に向かって他者（仲間）と相互作用しながら、新たな価値や意味を創造する動的な主体」であると。つまり、「人間はAIとは異なり、今までのプロセスの中から無限に変革・革新を生み出す」ことが出来ると言っているのです。

高校生、中学生の皆さん。この高志の学び舎で「ドンドン、チャレンジしてください」そして、「ドンドン自分を勇気をもって変化させ、成長してってください」。「新しい何かを掴んでください」それが、皆さんをさらなるステージに引き上げる原動力となるはずです。

新しい年度になって、皆さんのこれから始まる本年度の歩みと成長に期待して、あいさつに代えます。